

100歳おめでとうございます

村上あきさんに松竹梅敬老祝金

10月15日、100歳を迎えた村上あきさんを佐々木副市長が訪ね、松竹梅敬老祝金と祝詞を贈り長寿を祝いました。あきさんは小原の出身。結婚前は紡績工場に勤務し、結婚後は家業の農業に従事されながら家庭を支えてきました。現在は特別養護老人ホームえんじゅに入所していますが、入所前の普段の生活は、春・秋の山菜取り、趣味の水彩画や晩酌を楽しんでいたそうです。牛肉以外は好き嫌いなくなんでも食べるそうです。長生きの秘訣は「晩酌で適度の日本酒を飲んでいただけではないでしょうか」と家族の方が話してくれました。



▲あきさんの長寿を祝うご家族や施設職員と佐々木副市長

メダリストが直接指導

スパッシュランドで「田中雅美水泳教室」

10月10日、シドニーオリンピック400mメドレーリレー銅メダリストの田中雅美さんが指導する「田中雅美水泳教室」がスパッシュランドしろいしで開催されました。この教室は、参加者の水泳技術の向上や水泳の楽しさ、将来の目標など、生涯スポーツとしての地域振興を目的に公益財団法人白石市文化体育振興財団が主催。この日は、初級者の部に38人、中級者の部に24人が参加しました。田中さんは参加者と一緒にプールに入り、掛け声を掛けながら笑顔で泳ぎ方を指導。それぞれの参加者のレベルに合わせてアドバイスをしながらレッスンを行いました。



▲プールの中に入り指導する田中さん

白石市代表が連覇

福岡チームが家庭バレーボール宮城県大会優勝

10月1日、第9回家庭バレーボール宮城県大会で優勝した福岡チームのメンバーが市役所を訪れ、風間市長に優勝の報告をしました。大会は、9月27日に利府町のセキスイハイムスーパーアリーナで開催。決勝では1セットを先取されたものの、エースにボールを集め粘りのバレーを展開し逆転で優勝の栄誉を勝ち取りました。この大会は昨年の大鷹沢VCに続き白石市代表の2連覇です。

日下博昭監督は「相当な量の練習をこなしての出場だったので、とてもうれしいです。感動しました」と充実感あふれる笑顔で話してくれました。



▲笑顔で優勝の報告をした福岡チームの皆さん

沢端川をきれいに

秋の沢端川清掃

9月27日、毎年恒例の「沢端川ボランティア清掃」が沢端川周辺で行われました。この行事は、毎年春と秋、白石城の内堀にあたる沢端川などの土砂上げや補修のために行っている「川干」に合わせて、平成16年から白石市観光協会と白石商工会議所の共催で行われており、今回で23回目。この日はあいにくの雨でしたが、市内の企業や団体・個人などのボランティア約310人が早朝から集まり、川底や川沿いのごみを拾ったり、周辺の雑草を刈り取ったりしました。参加者は「これできれいな沢端川が保てばうれしいです」と話してくれました。



▲雨の中、川底を清掃する参加者たち

ずっと笑顔でいてもらいたい

青年海外協力隊石田喜子さんがエルサルバドルへ

9月24日、JICA青年海外協力隊員として中米のエルサルバドルに派遣される看護師の石田喜子さん（白石市長町出身）が佐々木副市長を訪ねられました。9月28日から2年間、同国の保健所に勤務される石田さん。現地では村落巡回や妊産婦への母子保健教育、地域住民への医療や保健啓発活動などに当たります。石田さんは「私が行く保健所にJICAボランティアが派遣されるのは初めて。現地の人たちと交流を深めながら、現地でかかわった人たちがずっと笑顔でいられるようなシステム作りを目指して頑張ってきます」と抱負を話してくれました。



▲笑顔で抱負を話してくれた石田さん（左）と佐々木副市長

子育て家族が笑顔で交流

ファミサポ秋祭り

10月7日、「ファミサポ秋祭り」をふれあいプラザで開催しました。この日は子育て中のママと子どもなど親子36組が参加。オープニングでは、みんなで童謡を合唱したり、細長い風船をひねって動物などを作る「バルーンアート」のパフォーマンスを鑑賞したりしたあと、子どもたちは、「魚つり」「ボウリング」「むかし遊び」など、思い思いのコーナーを回って楽しみました。

参加者たちは、さまざまな遊びを通じて、いつもとは違った親子のふれあいを体験し、会場は笑顔いっぱいにあふれていました。



▲ボウリングを楽しむ参加した親子たち

100歳おめでとうございます

佐藤みさほさんに松竹梅敬老祝金

10月14日、100歳を迎えた佐藤みさほさんを風間市長が訪ね、松竹梅敬老祝金と祝詞を贈り長寿を祝いました。みさほさんは白川出身。結婚後は、40年間、家業の葉たばこを作っていました。現在、子どもが3人、孫が10人、ひ孫が11人います。現在は介護老人保健施設清風に入所していますが、入所前の生活は、家で作った竹細工（ザル、フゴなど）や野菜を販売して家計を助けていたそうです。好きな食べ物は、さしみや魚。ご家族は、長生きの秘訣を「楽しみながら働き、体を動かすことではないか」と話してくれました。



▲みさほさんの長寿を祝うご家族や施設職員と風間市長

戦乱の世から泰平の世へ

大坂夏の陣400年・白石城開門20周年記念歴史講演会

10月4日、大坂夏の陣400年・白石城開門20周年記念歴史講演会「戦乱の世から泰平の世へ」を碧水園で行いました。この日は、共立女子大学文芸学部堀新教授を招いての講演「戦乱の世から泰平の世へ」と、片倉家第16代当主片倉重信さん、堀教授、市の学芸員との対談「片倉家当主と語る戦国時代から江戸時代」を開催。約120人が来館しました。

対談の中で重信さんは、片倉家の家系に生まれたからこそその苦悩や片倉家の子孫だからこそその体験など、この講演会でしか聞けない話をしてくれました。



▲対談する堀教授（左）、重信さん（中央）、市学芸員（右）